

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。



本木敏明議員

NPO問題

前町長らの物的責任を問え

やはり困難である

問 前執行部の物的責任の取り方について、6月議会での答弁は検討するとの内容だったが、結論は。

佐藤町長 前職らは現在一般人であり、法律違反や不法行為がない限り、町が責任の取り方を求めることは困難である。

問 甲斐谷副町長は、法的な困難さの中で、年内を目標に責任の求め方を検討したいと言っていたが。

甲斐谷副町長 23年度事業の再精査の結果が出た後に、物的責任の取り方について前職と協議する場を設け、お願いしてみたい。
問 県による23年度事業の再精査の内容と結果は。

佐藤町長 24年度事業と同じ視点で書類を確認し、支出理由を明確にした上で、補助対象の適否を判断している。

県と町で判断の違いがあり、代理人の指導を受けながら協議している。

問 県が23年度事業の完了検査では問題なしと判断したため、24年度も継続事業となった。再精査の結果、補助金の返還を求められたら応じるのか。

佐藤町長 裁判中の事案なので頭が痛い。
県知事は、山田町民も県民の一人であり、一蓮托生、この問題については共に頑張るとのことである。

土地買収

各課の意思統一がない

今後は連携を図っていく



関係課での勉強会の様子

問 町による災害危険区域内の土地の買い上げは、店舗のみの使用を含め、個人所有の全ての土地で可能であったはずだ。そのことについて、建設課・用地課・復興推進課が統一した見解を持っておらず、地権者の町民に不信感を与えたが、なぜか。

阿部建設課長 案件により担当課が分かれているが、

担当でない職員が事務分担を再確認せず回答して、ご迷惑をお掛けした。
佐藤町長 復興の中でも重要な土地の買い取りについて、今回のことを強い教訓とし、今後は担当課が連携しながら進めていきたい。

町長就任一年の自己評価は

優良可の良である

問 町長就任から一年が経過した。自己評価は。

佐藤町長 三役や職員の人事異動を経て、幹部職員との信頼関係を構築できた。NPO問題では難問を抱えて困惑したが、復興事業の着実な推進と同じく真相解明と解決に向け、全力で取り組んできた。

優良可で評価すれば良である。

問 復興事業を加速させるため副町長2人制に賛成したが、復興事業は遅れており、成果が出ていない。良とは言えないのでは。

佐藤町長 厳しい指摘は覚悟している。復興事業は、用地、資材の高騰、技術者不足など予期せぬ問題が多くあるが、全力で立ち向かい、一日も早い復興を成し遂げたい。

その他の質問

◆復興計画について